

the Heartful **元気な企業をつくる!**

2008
1 月号
2007年12月25日発行

OAG

Vol. **33**

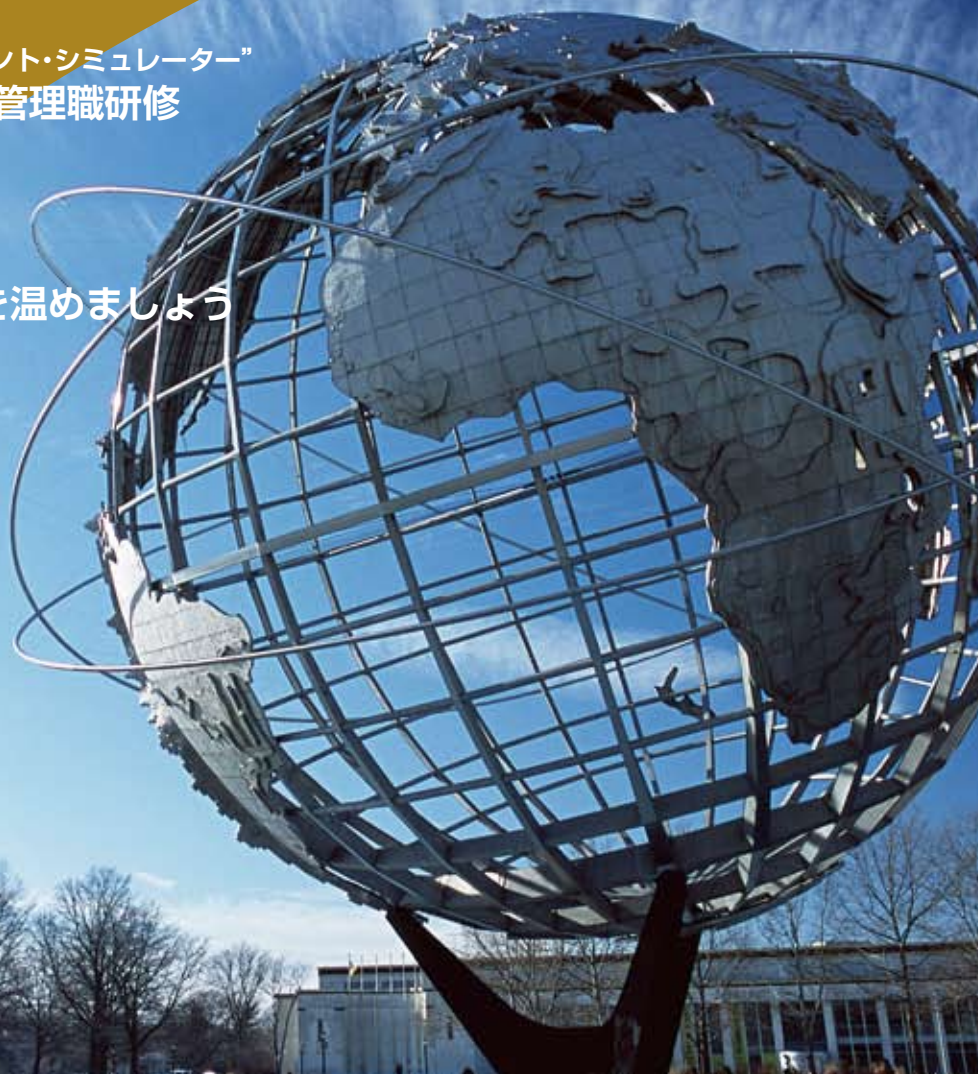
太田孝昭が語る春夏秋冬
私の初夢は「教育」と「自分税」です

第12回 OAG 経営者セミナー
2007年12月5日 弊社セミナールーム
「オイルマネーとグローバル株式市場」
21世紀アセットマネジメント
代表取締役社長 清水孝則氏

現場での指示・判断を適正化する“マネジメント・シミュレーター”
「イン・バスケット方式」による管理職研修
(株)ビジコム
第2事業部 前野剛史

今日から役立つヘルシー講座 その十
健康と命にかかわる「うなじ」を温めましょう

My Favorite Book



<http://www.oag-tax.co.jp/>


Ohta Accounting Group


ANNIVERSARY

the Heartful OAG

2008. 1 月号 Vol. **33**

C O N T E N T S

02

太田孝昭が語る春夏秋冬
私の初夢は「教育」と「自分税」です

03

第12回OAG経営者セミナー
2007年12月5日 弊社セミナールーム
「オイルマネーとグローバル株式市場」
21世紀アセットマネジメント
代表取締役社長 清水孝則氏

04

現場での指示・判断を適正化する
“マネジメント・シミュレーター”
「イン・バスケット方式」による管理職研修
(株)ビジコム
第2事業部 前野剛史

06

今日から役立つヘルシー講座 その十
健康と命にかかわる「うなじ」を
温めましょう

07

My Favorite Book

太田孝昭が語る元気な経営のワンポイント

私の初夢は「教育」と「自分税」です

太田アカウンティンググループ代表
太田孝昭



明けましておめでとうございます。良き新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。ここ数年の日本は、「格差」を巡る議論が、大きな注目を集めて来ました。「格差が広がっている」「いや、諸外国に比べれば、格差とは呼べない」など、賛否両論があります。ただ、「一億総中流」といわれた1980年代とは、全く違って来たことは確かです。

誤解を恐れずにいえば、ある程度の格差は仕方のないことだと思います。競争社会である以上、敗者と勝者の間に差が生まれるのは当然のことです。それを否定すれば、社会のダイナミズムも失われてしまうでしょう。

問題は、富める者はますます富み、貧しい者は一生その生活から抜け出せないという図式が固定化されつつあるという点です。

いったんは敗者になっても、努力を重ねればいずれ勝者になれるという社会が求められています。一方、富める人は利益を社会に還元して、貧しい人の暮らしを助ける心構えが必要です。

ただ、単なる金銭的な扶助では逆効果になる恐れがあります。私は、教育が最も効果的な方法だと考えています。職能技術を磨く機会（教育機関）を豊富に用意し、その習得中は最低限の暮らしが成り立つように、食事等を現物支給します。もちろん、教育成果を本人が示さなければ、その機会は無駄になります。努力をすればステップアップできるという点が重要なのです。

一方、勝者の利益還元として、私は「自分税」を考えました。納税者が個人で税金の使い道を指定するのは不可能ですが、例えば公道の改修などを個人で行えば、掛かった費用の30%を所得税還付するという制度です。行政にとっては3分の1の費用で公共投資ができるのと同じですから、行政のスリム化にも寄与します。その上、公共投資の乗数効果も計算上3倍になるわけで、景気拡大に直結します。勝者がこうした公益事業を自主的に行うことを、社会は偏見を持たずに素直に賞賛すべきでしょう。

もちろん、どんな仕組みにも悪用する人は出てきます。しかし、一部の狡猾な人のために何の対策もとらずにただ見ているだけでは、格差は広がっていくばかりです。多くの人が暮らしやすい社会は、自分にとっても良い社会です。私たち一人ひとりがもう少し社会に目を向け、社会を良くする提案や行動をしていきたいものです。

「オイルマネーとグローバル株式市場」

21世紀アセットマネジメント 代表取締役社長 清水孝則氏

「私の相場予想は、8割当たります。しかし、2割は外れることをまずご承知おきください。100%当たるようなら、私はここに立っておりません」。昨年、講師をお願いした 21世紀アセットマネジメントの清水孝則社長は、今年も最初から漫談のような楽しいお話で、会場を沸かせました。「投資はあくまでも自己責任」とクギを刺しつつ、誌面ではご報告できない極秘情報まで明かしていただきました。2008年の行動基準として、皆さまのお役に立てていただければ幸いです。



(1) 日本は“政策不況”に直面

相場や経済は全てグローバルで、日本一国だけではどうにもなりません。日本はアメリカと同じオープン経済になり、投資案件を求めてプライベートエクイティがどんどん進出してきました。ただ、足元は政策不況です。日本では事前規制が根強く、事後に厳罰を科すアメリカとは対照的です。それが、政策不況の原因にもなっています。例えば、消費者金融の上限金利規制です。海外では高金利が当たり前なのに、日本ではなぜいけないのか。規制をしたために消費者金融は全部経営不振になり、消費者金融を買った銀行も、今では不良資産に悩んでいます。

建築偽装に端を発した建築確認制度の見直しも、申請書類をたった一カ所でも間違えたら最初から全部やり直しなどということになり、現場がストップして深刻な建設不況になっています。その後修正されましたが、いまだにその影響を受けて低迷しています。

金融商品取引法も、笑い話のようですが、商品知識を豊富に持っている人にも、法律に則って2時間もリスクの説明をしなければなりません。それが、販売チャンスを逃す大きな原因にもなっています。

ところが、為替や原油は極めて自由にやっていて、誤解を恐れずに言えばコンプライアンスの少ないマーケットです。その意味では証拠金取引などは、大きなリスクを引き受ける覚悟が必要です。

(2) 産業革命以来の世界景気拡大

先進国でITを始めとした技術革新が起こり、中国、インド、ロシアが資本主義的になったため市場が急拡大しています。これは、18世紀の産業革命の時と同じです。

今、アメリカのGDPよりもエマージングカントリー全部を合わせた方が大きく、世界の28%を占めています。技術革新があって、マーケットが拡大して、物価が上がらなくなりました。その結果、世界の景気は今後30年はいい状態が続くでしょう。

しかし、エマージングカントリーの成長は、資源の争奪、公害の拡大というマイナス面もあります。また、中国は一人っ子政策の影響で2030年になると人口が減り始めます。20年が労働人口のピークで、この前後から現在

の年率11%という高成長は落ち始め、5%程度になるでしょう。

軍力はアメリカ一辺倒ですが、今が絶頂期で、これかれら衰退していきます。ロシアの軍力強化は、要注意。中国が国際社会に出てくるのは20年先でしょう。人口が13億人もいるため、年に4万回以上もデモや暴動が起こっていて、内政問題の解決が先です。

イスラム諸国とキリスト教諸国との対立は、激化しそうです。アメリカはイスラエルを徹底的に支援し、周辺のイスラム諸国が共同戦線を作り、北朝鮮がイスラム諸国を軍事的に支援しているという構図です。

(3) サブプライムの影響は軽微

アメリカの人口は3億人で、GDPは1800兆円。人口は毎年1~2%増、労働生産性は2~3%増、インフレが2~3%なので、名目の経済成長は放っておいても5%程度になります。実質は07年も2.5~3%くらいですが、株にとって重要なのは名目成長です。日本のGDPは500兆円、EUが1100兆円、中国が300兆円ですから、アメリカが経済大国であることに変わりはありません。

こうしたことを前提に2008年の世界経済を見通すと、次のようになります。

①グローバル経済は、年率4%程度成長します。サブプライムは、全世界の評価損が100兆円。その内、アメリカは60兆円ですから、GDPに占める割合は3%程度。日本はGDPの2割(100兆円)も不良債権が発生したわけですから、桁が違います。

②アメリカ景気は第一4半期まで低迷します。しかし、ドルを下落させて競争力を強化したので、これから輸出バブルになり、6月以降は回復します。2000年のITバブル、04~05年の住宅バブル、そして今回の輸出バブルへのシフトというのが、アメリカの基本戦略です。08年は利下げが行われ、公定歩合は3.5%になると予想しています。その結果、景気は回復し、株価も1~2月で底で2割以上回復します。

③欧州は、足元は絶好調ですが、08年は3%の成長が2%に落ちてきます。

④日本は政局の混迷が続く、総選挙後まで有効な景気対策は採られないでしょう。総選挙

をしても、自民党も民主党も過半数を獲得できず、政策を巡って両党とも分裂して、もう一度総選挙が行われる可能性もあります。株価は、アメリカが上昇することから、日本も1万9千円にはなるでしょう。

⑤中国株はPERが50倍以上で、保有リスクが高い状態です。特にオリンピックの年は、前年までの建設ラッシュの反動不況になります。さらに、金融引き締めが行われ、人民元は2~3割上昇すると予想しています。株にとっては、マイナス材料が揃っています。

⑥グローバルな流動性はオイルマネーが余っている上に、外貨準備、マネーサプライ、キャリートレード、プライベートエクイティ、ヘッジファンドなど、非常に豊富です。海外のマネーが日本にも入ってきますが、若干リスクコンシャスになります。第一に、アメリカがイランを攻撃する地政学リスク。第二に、日本のインフレリスク。最後に、アメリカの次期大統領にクリントン候補が当選するリスク。前のクリントン政権でも日本は無視され「日本バッシング」といわれましたが、今回のクリントン候補は「日本ナッシング」で、さらに対日関係は悪化します。円高、日本企業に対する巨額訴訟などが懸念されます。

⑦円高は、大企業で5割以上ヘッジしていますから、それほど大きな影響はありません。アメリカの政策によって上下しますが、105円くらいまで行くと考えています。

⑧リートは、東京に投資する物件がなくなり、利回りが当初の5%から、一部では3%を割っています。2008年中に日本の国債は2%になるでしょうから、ますますリートの魅力は無くなっていきます。東京の1等地は家賃が高騰して、空室が出始めています。

Profile 清水孝則

1945年生まれ。東京都出身。70年一橋大学商学部卒業後、野村証券入社。ロンドン大学留学、公社債部トレーダー、資金為替部チーフディーラー、国際営業部長、ノムラ・セキュリティーズ・インターナショナル株式担当副社長などを経て、93年野村投信取締役海外本部長、97年野村アセット・マネジメント常務執行役員CIO、2003年野村証券顧問を歴任。05年21世紀アセットマネジメント代表取締役社長に就任。06年10月投資信託業の認可を取得。07年1月公募ファンドをスタート。

現場での指示・判断を適正化する“マネジメント・シミュレーター” 「イン・バスケット方式」による管理職研修

(株)ビジコム 第2事業部 前野剛史

皆さまの会社には、管理職が日常的に行っている判断・指示が適正であるかどうかをチェックするシステムがあるでしょうか？ 権限委譲は大切ですが、任せきりでは気付いたときには手遅れという事態を招きかねません。

管理職が現場で行っている判断・指示は、会社運営そのものといえます。しかし、多くの企業では、こうした判断・指示の適正さを確認することが難しいのが現実です。

「自分が行っている判断や指示が適正であるか、確認できないだろうか」

「会社が要求する判断・指示のレベルとは、どのようなものだろうか」

こうした切実な悩みに対して、各社のビジネスモデルに則した解決を目指すのが「イン・バスケット方式」によるマネジメント研修です。

自社のビジネスモデルで研修できます

多くの研修は一般論に終始しがちで、「話は分かるけど、うちの会社には不向きだ」「実例が、うちの会社とはかけ離れている」と感じた方は多いことでしょう。研修業者にしてみれば、個別案件への対応はコストも時間も掛かり、収益的なメリットがないというのが実態です。

そこでビジコムでは、これまで誰も作らなかった“自社のビジネスモデルに合わせたオリジナル研修”を企画運営する事業をスタートさせました。

企業のマネジメントにかかわる問題を病気に例えれば、一般の研修は薬局で買える市販薬を使った治療、オリジナル研修は医者による処方箋に基づく治療、といえるでしょう。内部監査を受託しているビジコムだからこそ提供できる、カスタムメイドのマネジメント研修なのです。

研修スタイル自体は、新しいものではありません。簡単にご説明すると、「決済箱（バスケット）に入っている情報や相談に対して、次々と下していく判断や指示の内容をシートに書き込む個人ワークスタイルの研修」ということとなります。管理職への昇格時に行われるアセスメントの一つとして利用されています。

イン・バスケット方式の研修は、実際のビジネスシーンを再現した内容で作成・実施します。そのため、課題の中で使用する言葉や管理帳票・伝票などは、全て実際に使用しているものです。その結果、普段なかなか確認できない管理職の思考や判断能力を、この研修を通して明確に把握することができるようになります。

フライト・シミュレーターのような臨場感溢れる研修プログラム

パイロットの訓練に使用されるフライト・シミュレーター。究極の“現場の再現”ともいえます。その点でイン・バスケット方式は、管理職を訓練する「マネジメント・シミュレーター」と呼べる研修なのです。

受講者は、決済箱に入った部下からの相談や顧客からの苦情、新規取引案件等に対する判断・指示を、次々にシートに記入していく「個人ワーク」から始めます。まるで本番のような緊張感が漂い、「業務の再点検につながった」「自分のマネジメントの問題点が客観的に分かった」という声が、多くの受講者から寄せられています。

特に、若い管理職の中には「自分の判断や指示は、本当に的確・適正なのだろうか？」と一人で悩み、不安に陥っ

ている人が多いようです。管理職になれば、結果で評価されます。それが、一層悩みを深くしているのです。イン・バスケット方式による研修には、こうした悩みを解決する効果もあります。

また、当社の研修の大きな特徴は、企業の内部監査を受託している中で把握した実際の不正事例が豊富に盛り込まれている点です。コンプライアンスが徹底的に求められるようになり、ほんの僅かな不正でも、命取りになりかねません。イン・バスケット方式による研修は、「日常業務は常に不正と隣り合わせである」という現実を見据え、それを防止するための“気付き”を体験的・実践的に学ぶ教育訓練の場でもあります。

<受講者の声>

最初の説明ではゲームのような感じがして面白そうでしたが、実際に始めてみると大変でした。グループ討議では自分のミスにも気付き、他の人の考えも聞いて勉強になりました。

私の判断は正しかったのだろうか？ 何か見落としていることはないだろうか？ 仕事の優先順位はどうだろうか？ 日頃の疑問が氷解した研修でした。

瞬時の判断が次々に求められ、全体的にかなり疲れる研修でした。しかし、内容は有意義で、今後の実践こそが大切だと痛感しています。

日々起り得るリアルな事例なので、いろいろな制約の中で考えるのは大変疲れました。職責の違う人からの意見も参考になりました。

イン・バスケット方式の構成(2日間を基本とします)

決済箱 (バスケット)

<バスケットの中身>

- 管理帳票(社内用) ●顧客からの苦情 ●事務からのメモ
- 会議資料や通達文 ●部下からの相談

※各社の業務に即した内容で構成されています

個人ワーク

決済箱の情報に基づいて、判断・指示・命令した事や自らの行動をシートに記入していきます。あいまいな情報だけで判断を迫られるものもあります。そこに、日常業務が映し出されます。

グループワーク

グループ内での意見交換により、普段は聞けない事の確認や“気付き”が生まれます。日常業務に対する自己の対応力を検証でき、仕事に生かれます。物音ひとつしなかつた個人ワークから一転、ときには笑い声も聞こえてきます。



グループ発表

チームがまとめた意見を発表します。聞く側も真剣そのもの。自分の判断や対応と異なる意見に、興味津々です。

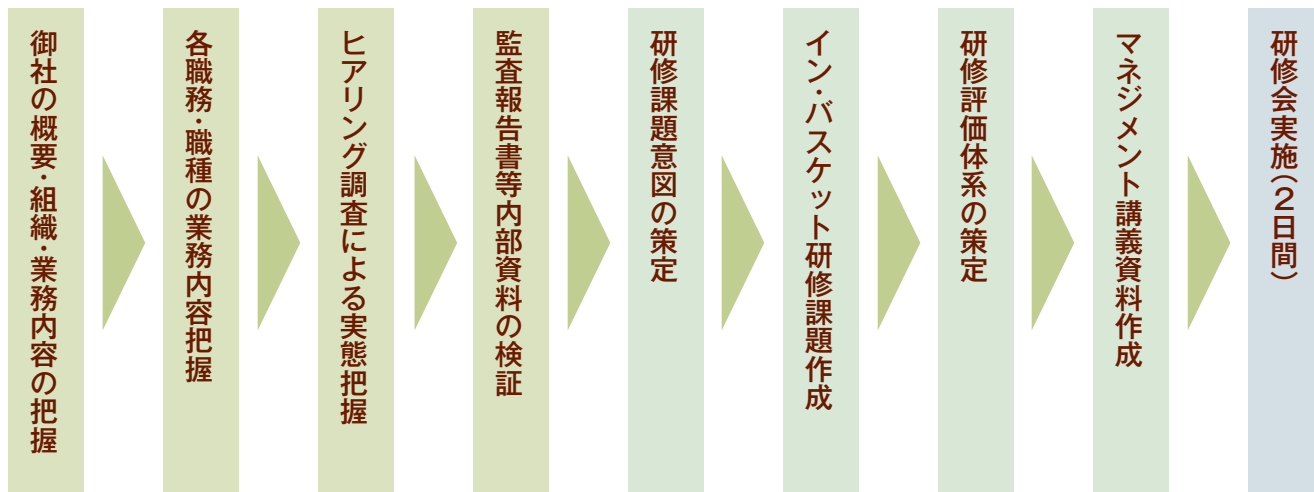


マネジメント講義

「マネジメント能力をどのように考えるか」「求められる管理職とは」など、適正な対応について座学し、研修で得た知識・ノウハウを整理することができます。監査の指摘事項に対する意識も高まります。



オリジナル研修プログラムの構築・実施過程



※監査を実施されていない企業でも、ヒアリング調査等により研修プログラムの作成が可能です。

BUSICOM

名称 株式会社ビジコム

所在地 本社・第1事業部 〒160-0017 東京都新宿区左門町3番地 左門イレブンビル3階

TEL:03-3356-3500 FAX:03-3225-1300

第2事業部

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町10-34 日本生命江坂駅前ビル8階

TEL:06-6310-3101 FAX:06-6310-3103

URL <http://www.busicomaudit.com/>

※この研修に関するお問い合わせは、株式会社ビジコム第2事業部まで

AG
Osaka Accounting Group

健康と命にかかわる「うなじ」を温めましょう

健康診断の結果は良好、食事にも気を遣っているし、適度な運動を心掛けている。けれども、なんとなく身体がだるかったり、頭が重かったり、目がしょぼしょぼしたり……それは、年齢のせいだとあきらめていませんか？

この「なんとなく体調不良」という状態を改善する鍵を握っているのが、「うなじ」なのです。

うなじには、自律神経、脊髄、内頸（ないけい）動脈、椎骨（ついこつ）動脈など、人間の命と健康に直接かわる神経や血管が集中しています。日常の小さなストレスが蓄積されたり、強いストレスを感じたりすると、うなじに集まっている器官が正常に機能なくなることがあります。その結果、眼精疲労や頭痛、耳鳴りといった体調不良が現れたり、睡眠を十分にとっても疲れが抜けない、原因が分からないけれども風邪をよく引くなどの症状に見舞われることもあるのです。

こうした体調不良を感じる際には、うなじを温めてみましょう。

やり方はいたって簡単。うなじをタオルで包むだけでよいのです。皮膚を刺激しないように、タオルは綿やシルク 100%のものが最適です。結んだり、マフラーのように首にぐるぐるまくと、首を絞めてしまう怖れがあるので、胸の前で交差させるだけにしましょう。うなじには太い動脈がたくさんあるため、それを温めると血管が拡張して、血液の流れがスムーズになり、肩こりや頭痛が改善されるという仕組みです。

また、うなじには「風門」というツボがあり、ここを刺激すると全身が温まるので、冷え性の人にも効果

があります。身体の冷えは、内臓の働きを低下させて下痢や便秘を引き起こすこともあります。うなじを温めて血行が良くなると、こうした症状も改善されます。

ただ、仕事中にタオルを首に掛けるわけにはいきませんから、心身ともにリラックスできる就寝中を利用することがお勧めです。タオルをうなじに巻き、その上からパジャマなどを着れば、長い時間うなじを温めることができます。

肩こりや頭痛の症状を即効的に改善させたいなら、理髪店でやっているように、電子レンジで蒸したタオルを作り、それをうなじに当てましょう。あるいは、使い捨てカイロをタオルでくるんで、首に巻くという方法もあります。その場合には、低温やけどに十分気を付けてください。



推薦人:太田孝昭(代表社員)



『ヒトデはクモよりなぜ強い』
オリ・ブラフマン、ロッド・A・ベックストローム／著
糸井 恵／訳
日経BP社 ¥1,890 (税込)

この強烈な題名に引かれて購入してみました。興味本位でしたが、読み進むうちに、どんどん引き込まれてしまいました。

本書の言わんとするところは、ITを始めとしたさまざまな環境変化に対して、クイックに、かつ的確に反応する組織とは、どうあるべきかということです。その点では現在の難局に最もふさわしい提言であり、ヒトデ型組織（分権型組織）こそが重要であると結論づけています。

今、われわれの世界は、大洪水の中で翻弄されているといつていいでしょう。ここで勝利を収めるために、とても参考になる本です。

推薦者:加知三幸(法人税部)



『ピカレスク 太宰治伝』
猪瀬直樹／著
文藝春秋 ¥780 (税込)

織細がゆえに世俗では道化を演じ、文学を通じて己の痛みを露呈し続け、そんな姿を多くの女が放っておけず、玉川上水の心中でようやく自己破壊を全うした…。太宰治について、私はこう思ってきた。しかし本書では、死ぬ道求めた偉人ではなく、生きるために必死にもだえあがいた生身の男という独自の視点から、太宰の悪漢ぶりが明かされていきます。実家の資産を後盾に流行の文学に飛びつき、売れなければ井伏鱒二らに甘え、追い詰められれば自殺未遂。それらを作品に昇華させていくのはさすがですが、なんともピカレスクな生涯が、丹念な調査により叙述されています。

推薦者:君島弥寿子(資産税部)



『お金がなくても平気なフランス人 お金があっても不安な日本人』
吉村葉子／著
講談社 ¥560 (税込)

初めての海外旅行で、ヨーロッパ一旅をした。スケジュールは、全て白紙。常に緊張を強いられたが、見聞を重ねる中で既成事実と考えていた事象が覆されていき、自分の存在が揺さぶられるような衝動に駆られたことを、今も思い出す。

著者はパリで20年暮らし、一児を育てた母にして、作家の宇田川悟氏のパートナーである。彼らが見たフランス人の合理性、文化、個人主義が徹底した教育、男女平等でありながら、死ぬまで男・女であり続ける子育てとは…。どこか浮き足立って見える日本人にとって、等身大で人生を謳歌するフランス人の姿は大きなヒントになりそうだ。

話題の新刊



『記憶がなくなるまで飲んでも、なぜ家にたどり着けるのか?』
川島隆太・泰羅雅登／著
ダイヤモンド社 ¥1,365 (税込)

誰もが一度は身に覚えがある(?) タイトルの本。「脳トレ」の川島隆太東北大学教授と気鋭の脳科学者・泰羅雅登日本大学教授が、下戸(河島教授)と酒豪(泰羅教授)の立場から、ユーモラスに酒と脳の不思議な関係を解き明かします。日常的に見覚えのある景色の中なら、わざわざ道順を思い出さなくても迷わないという「脳ナビ」を発見したのが泰羅教授です。成人男性の2%がアルコール依存で、女性は男性の半分の酒量と時間でアルコール依存症になるなど、ちょっと怖い話も…。忘年会・新年会と酒宴が続く季節に、自戒の書としてもお勧めです。



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1 元日	2	3 大安	4	5
6 友引	7	8	9	10 友引	11	12
13 大安	14 成人の日	15	16 友引	17	18	19 大安
20	21	22 友引	23	24	25 大安	26
27	28 友引	29	30	31 大安	1	2

1/4...10月決算法人及び決算期の定めのない人格なき社団等の確定申告、4月決算法人の中間申告、1月、4月、7月、10月決算法人の3カ月ごとの期間短縮に係る確定申告、法人・個人事業者の1カ月ごとの期間短縮に係る確定申告、4月決算法人の中間申告、消費税の年税額が400万円超の7月、1月、4月決算法人の3カ月ごとの中間申告、消費税の年税額が4,800万円超の10月決算法人を除く法人・個人事業者の1カ月ごとの中間申告

給与所得者の扶養控除等申告書の提出...本年最初の給与支払日の前日

1/31...支払調書の提出・源泉徴収票の交付、給与支払報告書の提出、固定資産税の償却資産に関する申告、11月決算法人の確定申告、5月決算法人の中間申告、2月、5月、8月、11月決算法人の3カ月ごとの期間短縮に係る確定申告、法人・個人事業者の1カ月ごとの期間短縮に係る確定申告、消費税の年税額が400万円超の2月、5月、8月決算法人の3カ月ごとの中間申告、消費税の年税額が4,800万円超の11月決算法人を除く法人・個人事業者の1カ月ごとの中間申告

編集後記

明けましておめでとうございます。平成20年は子年。十二支でいえば、一番最初の年になります。私たちOAG税理士法人も、代表の太田が個人で税理士事務所を開業してから、今年で満20年。この節目を、新たなスタートを切る最初の年と考えております。顧問先さま、お客さまを始めとして、これまでに本当に多くの皆さまにご縁をいただけてまいりました。多年にわたるご愛顧を心より感謝申し上げますと共に、OAG税理士法人の所員一同、並びにグループ会社の社員一同、力を結集して今後もより一層のサービス向上を目指してまいります。20周年の記念となるイベントもプロジェクトチームを編成して鋭意企画中です。何とぞ、ご期待ください。この一年が、皆さまにとりまして明るく素晴らしい一年になりますよう、衷心より祈念申し上げます。(ま)

発行 OAG税理士法人
 (株)シーケーシステム研究所
 (株)経理秘書
 (株)ビジコム / (株)福祉総研
 東京都新宿区左門町3番地1 左門イレブンビル5階
 tel.03-3352-7500 / fax.03-3356-1180

発行人 太田 孝昭
 編集人 松本 眞一



Ohta Accounting Group